

このセッションではDMがファンブル表を忘れたため、クリティカル・ファンブル表ルールは採用されていない。

1日目

パーティーメンバーは世界樹から帰ってきたペプラー、ラリック、アネルバ、アッハープ、イナオ、サナイ、そして『祭り』のためにやってきたラリックの弟、華麗にシャベルをふるうヒグホウルだ(もっとも、ラリックは弟なんかいたっけなーと始終言っていたが)。ちなみに、『祭り』とは、ヴェイロアとピットンの共同の儀式のことで、100人の死体を埋めて、その上に種をまいて頭も埋めるといふもの。記録達成のためには、悪だったら殺してもよい。

パーティが朝ご飯を食べていると、突然宿のドアが開いて、黒いローブを来た8人のWizardがやってきた。彼等こそCircle of Eight、このOarthの秩序のため善悪のバランスを陰でコントロールする最強の魔道士達だ。彼等はパーティを取り囲むと、言った。

「つい最近、Gary Gygax氏がUpper Planeへと旅だった。このシナリオ、Ruin of Greyhawkは、もともと氏が作ったシナリオの焼き直しである。このシナリオの最後を遊ぶにあたって、彼に敬意を示したまえ。黙祷。」

黙祷が終わると、Mordenkinen先生が不思議な呪文をかけてくれた。

「これは異界の呪文『evac』。頭の中でこれを唱えることで、ここ、Green Dragon's Innまで全員が帰ってこれる。ただし、使用回数はパーティで二回だ。このシナリオのラスボスは強いので、テコ入れというわけだ。じゃ、がんばれよ。」そう言って、Circle of Meta Eightは去っていった。

ダンジョンへ向かう。前回と同じ8方向へ通路が延びる地下までやってきて、まだ開けていない扉を開けると、その向こうには砂浜と、海が広がっていた。絶句するパーティ。雲一つ無い空も見える。砂浜には二隻のボートが用意されており、どうにもこまったみなはそれに乗ることにした。船に乗ると、それは勝手に進み出した。数十分穏やかで美しい海にゆらけていると、向こうに島が見えてきた。中心に火山を抱く、ジャングルに囲まれた島だ。船は、どうやらそこに上陸できる岸辺を目指しているらしい。岸には一匹のApeが座り込んで、何かを食べているようだ。

近づいてみると、Apeが食べているのはプレシオサウルスの死体だということが分かった。よくよく見てみると、Apeのサイズは尋常ではない。船が近づいてくるのを見ると、Apeはプレシオサウルスの頭を引きちぎり、代用武器にして襲いかかってきた。

すさまじい攻撃力だったが、それしか能がないうえ、二ラウンドでプレシオサウルスの頭はぐちゃぐちゃになって使い物にならなくなってしまった。で、倒された。

島に上陸して、イナオがもつザギグの鍵の導きに従って進むと、草原の真ん中に紫色のジグラットがたっている。そこに近づくとつれて虫の気配が消えてきたことなどに恐れをなし、他のメンバーを200ftほど向こうに残してアネルバは一人ジグラットへ偵察に行った。アネルバがそこに登ると、その上面にはプールがあるということがわかった。しかし、そのプールからぼこぼこ泡が立って、大きなティラノサウルスが出てきた。ティラノサウルスはインヴィジしたアネルバには気がつかなかったが、200ft向こうのパーティーを見つけ、そちらにむかって走り出した。

このティラノサウルスはDormant KingというSpellwarped Tyrannosaurusで、アネルバが援護のために撃ったMagic Missileは吸収され、ティラノのACを2上げた。しかし、Freedom イナオをSwallow wholeできずに、殴り殺されてしまった。

今度は全員でジグラットに登ると、プールから変な球体が出てきて、各人にぶつかってきた。これに触れたら皆は、どこかへテレポートしてしまった。

テレポートした先は、上も下もない不思議な空間だった。実はここは、Zagig 神その人の思考の中、Sphere of Thought と呼ばれる場所であった。そこに浮かぶ Sphere に当たると、うっかり Wis やなにかが Drain されてしまう。イナオなどが悲鳴を上げる中、ラリックはひときわ大きい Sphere の中に入った。その中には、もう一人のラリックが！ラリックは何も言わず、襲いかかってきた...

...が、攻撃的な呪文もなく、Str8、武器は Spiked Gauntlet なのに AC は 20 越えという不毛な戦闘のため、まったく決着が付きそうにない。結局、d20 の振り合いで 5 回で勝負をつけることになり、二勝二敗にまで持ち込まれたが、200XP で振り直しをすることによってラリックはかろうじて己に勝った(ちなみに、負けると AL が反転したコピーが出てくるところだった)。そしてラリックはザギグキーのかけらをみつけ、彼がそれにさわると PC 達は八叉路の広間にもどってきた。

2 日目

同じく八叉路広間から、前回テラが飛ばされていったアビスのホロウズハートに行くことに。飛ばされた先は崖の底。イナオのキーは上を指している。Fly や Air Walk(足りないからおんぶもあつた)でどんどん上昇していくと、巨大な心臓みたいな祭壇で祈っているラクシャーサとティーリングを発見。

で、虐殺した。まじラクシャーサは無理。あ、ついでにザギグのコピーもいたが、Rod of Wonder 毎ラウンド使えとか、本当にあり得ない。もちろん瞬殺された。このザギグコピーは、やはりかけらを持っていた。最後のかけらをつなげると、ザギグキーはなんだか遊戯王の千年パズルみたいなもの変わった。

また八叉路に戻るも、ヘズロウはあんまりいやだ、ということで一度チキン帰った。

3 日目

ヘズロウ対策をしっかりと、Greyhawk Ruin のさらに奥へ。完成した千年ザギグをかざすと全ての扉が音も立てずに開く。結局、ヘズロウのいる空間には Silence で Blasphemy 対策、後衛のところには Glove of Invulnerability で Unholy Bright を防ぐという戦法で突入。へずうちの部屋はなぜかその中心に向かって三段のすり鉢状になっており、前衛陣が突入して初めてその意味が分かった。1 段目は冷気ダメージ、二段目は冷気と電気ダメージ、三段目は氷と電気と Negative Level。ヘズロウは Resist があるので、二段目までは OK! という嫌な構造になっていたのだった。でもけっきょく、ヘズロウはぼこぼこなくなぐられ、一人が奥へ逃げ込もうとしたけれど、結局やられてしまった。なお、イナオはこのあたりで無理矢理アライメントポイントを下げた Non Good に調整していた。

今まで行ったことのないヘズロウの奥へ進んでいると、むこうから悲鳴が。あわててそちらへむかうと、そこはもともとはボカブの神殿だったのであろう場所だった...が、今はひどいことになっている。天井からはしたいがぶら下がり、ボカブの神像は角が生えてたりスペルブックを食べてたりとひどい有様。そのうえ部屋の一段高いところには台があって、そこには Greyhawk のボカブ神殿で見た司祭、ライアンが寝かせられている。その脇には、なんとあの Riggby が禍々しい短剣を持って立ち、今にも突き刺そうとしているではないか。ライアンは PC 達を見ると、助けて、と叫んだ。一方 Riggby は、「ボカブ神への生け贄を邪魔するな！」と叫んでパンチで殴りかかってきた。ヒグホウルはライアンを守るため、その周りに Wall of Stone を張った。Riggby はプラスチックという汚い Undead になっていたが、一匹だし、殴り系だし、ということで、すぐやられてしまった。ライアンを助けようと石壁をなぐりはじめると、上から声がする。

「石壁で閉じこめるなんて、ひどいじゃない？」

見ると、ライアンは Wall of Stone の上に足を組んで座っている。こりゃどう見ても敵だ、という

ことで攻撃を仕掛けると、ライオンは真の姿である Lilitu Daemon の形になった。なんか Spiked Chain を持っている。そしておもむくに「Divine Might！」と叫ぶと、Cha38 = +14dmg で、Spike Chain3 回攻撃+脇から生えた 4Stinger 攻撃を放ってきた。すいません、もともとは Divine Might なんてついてなかったんですが、出来心で…。

他にも、DC29 の Slay Living を撃ってきたり(これは ラリック が耐えた)、二回も Heal で全回復したりしたが、最後には倒された。くそー、Slay Living で一人は殺せるはずだったんだが…。

ここで、一旦帰った。Rigbby の死体は Boccob 寺院に届け、Demon を殺したことを報告すると、Boccob 寺院は 2 万 gp 分のキャストイングサービスを約束してくれた。

4 日目

偽ライオンの先に進むと、そこは元 Zagig の研究室だった。人影はない。テーブルの上には、シミュラクラムに関する書物と、修理材料が転がっていた。部屋には 9 つの小部屋がついており、各部屋には各呪文の school に対応したマテコンなんかが収納されていた。そのなかの Universal の部屋で アネルバ は隠し扉を発見し、奥に進んだ。通路を少し歩くと、巨大で重厚な扉がある。千年ザギグを掲げると扉は開き、中には中くらいの部屋と、壁のところにポータルらしきものが見える。

しかし、部屋には Diamond でできた明らかゴレムなやつらがいた。しかし、アネルバ がインビジして入ったところ動かなかったので、Invisi Sphere でやりすごすことになった。そして、ポータルに全員が入ろうとするが、なんとこのポータル、1 ラウンドに一人しか飛ばさないポータルだった。

最初にやってきたのは イナオ だった(確か)。イナオは、中に浮かんだ円盤じょうのものの上に立っていた。円盤からは数本の光の触手がのび、何本かは壁にある謎の巨大宝石にくっついている。その中には、Iuz がいるようだ。Iuz の牢から時折光のようなものがはしり、触手を通して別の触手の先へと送られている。そこには、ウィッチクイーン、イググウィルブのシミュラクラムがついていた。ただし、5 人いた。

混乱する イナオ に向かってイググウィルブ(仮) 四人からからビームが 4 本飛んできた。これはすごいビームで、FortST に成功すると Daze、失敗する Paralyze というもの。もちろん イナオ はパラライズした。このあと人が一人ずつ転送されてくるも、パラライズしたり、イググウィルブが唱えた Black Tentacle に捕まったり、アネルバ はメイズをくらったり、とにかくいろいろひどい目にあった。ペプラー はパラライズした後クーデグラされて危うく死ぬところだった。さっさとメイズから帰ってきた アネルバ は、これはもう無理だと evac した。そして、Iggwilv は Iuz からエネルギーを得て、1HD 成長した。

5 日目

早くしとめないとどんどん成長していくということを悟った Twins は、決死の覚悟で特攻することにした。Freedom of Movement があれば、多少ましだろう。そして何より、1 ラウンドに一人転送があり得ない。そこで、Portable Hole に数人を詰め込み、アネルバ が Initiative を取って、広げるといふ博打作戦に出ることにした。もしビーム Daemon にイニシアチブを負けたら…Anelva は行動できないまま、Portable Hole も広げられることはなくなってしまう。ただし、一応その時にそなえて、アッハーブ、サナイ は 1 ラウンド遅れて入ることにした。

かけうるバフを全てかけ、ポータブルホールにしまわれる主力陣。アネルバ はポータルに飛び込み…普通に Initiative に勝った(Alter Fortune 使ったかも)。そして広げられたポータブルホールから一斉に飛び出る前衛達は、敵の Daemon の At Will Targeted Dispel Magic にばりばりとバフをはがされた。そして、Iggwilv に Greater Dispel を撃った ペプラー は Spell Turning で呪文が跳ね返り、バ

フを失う。イナオはメイズで飛ばされる。また、ラリックは飛行呪文をはがれ、円盤から下の地面 40ft 下まで落下。アッハープは一度チャージして Iggwilv に大ダメージを与えるも、やはり Fly をはがれ、Otiluke's Resilient Sphere で閉じこめられる。また、ペプラーは Iggwilv の Disintegrate で粉になり、ヒグホウルは Portable Hole の穴 10ft から出られなくてびよんびよんしていた。そんな中、状況の打開に走る（微妙に逃げる）アネルバ。また、アネルバに「イナオを消したのはあの魔女だ！」とけしかけられ、デーモンの囲まれながらも Adamantine 矢で Iggwilv の hp を削るサナイ（ただし中の人は粉ペプラーの Aloe 氏）。どんどん傷ついていくサナイにヒーローイナオの帰還が待ち望まれるが...

デーモンにぼこられて、ついにサナイが倒れる。

「イナオ、様...」

しかしこの時も、イナオは帰ってこなかった。

デーモンはヒグホールをいじめており、現状まともに動けるのはラリックとアネルバだけ。アネルバは決断を迫られた。

1. アッハープを解放し、突撃させる

2. evac

3. 自分に Fly, True Strike をかけて突撃。

結局、Fly Scroll を抜くとアッハープのいる位置まで到達できないということが分かって、Fly を自分自身にかけるアネルバ。

そして次のラウンド、Quicken True Strike から Iggwilv まで心眼チャージ！

説明しよう。心眼チャージとは、True Strike でミスチャンスがないのをいいことに、Mirror Image がかかっている相手に目をつぶって突撃することである。

残念ながらアネルバの Atk Roll は 1 では無かった。Longsword に貫かれ、絶叫する Iggwilv。その体からエネルギーがほとばしり、Iuz が封じられている宝石を直撃した。すると、部屋全体がぐらぐらと揺れ始める。そして、全ての God Trap ははじけ飛び、中に捕らわれていたものが出てきた。

まずは Iuz。憔悴しきった Old One は、PC 達の方を憎々しげに見ると、Teleport で去っていった。

次に牢から飛び出していったのは、武器だった。9つの真っ黒な武器が空を飛んでいき、そしてやはりどこかへと Teleport していった。

そして現れたのは、Monk 風の男。彼はだまされたまま PC 達にうなずくと、消え去った。この男こそ Zuoken、彼のうなずきによって PC 達は AC と Will ST に +1 ボーナスを得たのだった。

最後に牢からよろよろと歩いてきたのはロビラー / ビラッロだった。彼に Orb of Opposition を当てると、ピカッと光った後、真のロビラー卿が現れた。

そのころ、イナオはようやくメイズから抜け出してきた。そんな彼が目にしたのは、ぼろぼろになったサナイの体を God Trap の残骸に押し込んで隠そうとしているアネルバ達の姿。

「これが俺が守ろうとしてきた人間達の正体か！」イナオはそうさげんだ。

そして、サナイを取り返す。サナイは死んでいた。

ロビラー卿は修羅場みたいのを見てちょっと引いていたが、「逃げないか？」と提案してきた。Teleport で城の外へ逃げると、城が蜃気楼のようにゆらめいている。そしてしばらくの後、城はふっと消えた。こうして、Ruin of Greyhawk は、まるで最初からそこになかったかのように、姿を消してしまったのだった。同時に Twins の Greyhawk Ruin を巡る冒険も終わりを告げたのだった。

後日談

イナオはサナイの死体と共に宿に帰ってきたが、もはや Twins と一緒に旅をすることはできないと分かっていた。サナイを復活させる方法を探さなければならない。

蘇生されたペプラーも同じ気分だった。Twins にいると、いくら死んでもキリがない。その上、Iuz の呪いを運悪く食らってしまい、毎日 Negative Energy Damage が入るといった体質になっていた。

イナオとペプラーは Twins に別れを告げ、彼等の旅に出た。

その後、イナオはサナイを蘇生させて Hell に行った。一方ペプラーは本物の Iggwilv に目をつけられ、その弟子になった。呪いを克服し、死んでも経験値が減らない体になるため、Lich になる方法を探求しているという噂だ。

ラリックとヒグホウルは『祭り』を続行しつつ、故郷に神殿を建設するために帰って行った。なんでも、実は故郷は別の大陸にあるんだとか何とか。また、ヒグホウルがフードをはらいのけると、実はラリックの妹だったということが分かった。もっと早く言えよ…。

アッハーブはファルシオンクリティカルに味を覚え、モルデンカイネン先生に口利きをお願いして Greyhawk の死刑執行人となった。彼のファルシオンによって処刑されたものは幸いである。なぜなら、痛みも苦しみもなく死ねるのだから。そのため、アッハーブは位の高い貴族や身分の高い敵将などを専門に処刑する執行人になったそう。

アネルバはラリック、アッハーブの Twins の残りの仲間と一緒に先祖の城、風雲アネルバ城を攻略した後、そこに隠されていた莫大な財宝を手にして大金持ちになった。今でも、雲の上を飛び回る風雲アネルバ城には一人の女 Elf が住んでおり、気ままにくらしているという。

しかし、ごくまれに、アネルバはずこし寂しそうなまなざしで下界を見つめ、最後にはちりぢりになってしまった Expedition to Ruin of Greyhawk の仲間達のことを思い出すのであった。

Fin.

DM の所感

- ・イナオは主人公
- ・サナイは萌キャラ（辛い）
- ・ペプラーは…黒い
- ・ラリックはおかしい（戦闘中はまとも）
- ・アッハーブはまとも（登場シーンと後日談だけおかしい）
- ・ヒグホウルは…まあ、最終話だけだし、あんまりキャラ立ってない。でも実妹設定にはびっくり。
- ・アネルバはおいしいところだけ持って行く
- ・お疲れ様でした。目標としていた古い D&D のテイストはけっこう出た気がします。